

歴史・人類学専攻

専門科目(歴史学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
02DC299	日本史特講I-A	1	1.0	1・2				古代の法制史料を精読し、律令制研究に必要な史料の活用方法を習得する。令の注釈書である『令集解』のテキスト読解と、それを踏まえた制度の成立過程の追究などを行う。具体的には、律令国家の人民・国土支配にかかわる戸令・田令・賦役令の条文を読み進めていく。	西暦奇数年度開講。 OABACA0と同一。 対面
02DC300	日本史特講I-B	1	1.0	1・2				古代の法制史料を精読し、律令制研究に必要な史料の活用方法を習得する。令の注釈書である『令集解』のテキスト読解と、それを踏まえた制度の展開過程の追究などを行う。具体的には、律令国家の人民・国土支配にかかわる戸令・田令・賦役令の条文を読み進めていく。	西暦奇数年度開講。 OABACA1と同一。 対面
02DC301	日本史特講II-A	1	1.0	1・2	春AB	月4,5	山澤 学	本特講では、宗教と社会を研究対象とした地域史研究における基礎的知識と研究方法を修得する。また、文献史料を読解する能力の向上にも努める。具体的には、つくば地域の地方文書を事例として、先行研究の検討をふまえ、未公開であり、くずし字で記されている史料を精読し、地域史研究における基礎的知識と研究方法を講ずる。必要に応じて履修者には史料読解に基づく報告も求める。	西暦偶数年度開講。 OABACA2と同一。 隔週開講 対面
02DC302	日本史特講II-B	1	1.0	1・2	秋AB	月4,5	山澤 学	本特講では、宗教と社会を研究対象とした地域史研究における視点を検討し、深める。文献史料を読解する能力の向上に努めつつ、論文作成に向けての視点を考察する。具体的には、つくば地域の地方文書を事例として、先行研究の検討をふまえ、未公開であり、くずし字で記されている史料の写真版を精読し、地方史研究における知識・研究方法を講じつつ、論文作成に向けての視点を検討する。必要に応じて履修者には史料読解に基づく報告も求める。	西暦偶数年度開講。 OABACA3と同一。 隔週開講 対面
02DC303	日本史特講III-A	1	1.0	1・2				日本近代思想史について講義する。主として日記史料を扱う。	西暦奇数年度開講。 OABACA4と同一。 対面
02DC304	日本史特講III-B	1	1.0	1・2				日本近代思想史について講義する。日記史料から歴史像を描き出す。	西暦奇数年度開講。 OABACA5と同一。 対面
02DC305	日本史特講IV-A	1	1.0	1・2	春AB	木3,4	朴 宣美	近代日本における女子高等教育の発展、近代的なジェンダー意識の形成と変容などについて考察する。社会文化史・ジェンダー史を考察する視点を習得を目標とする。	西暦偶数年度開講。 OABACA6と同一。 隔週開講 対面
02DC306	日本史特講IV-B	1	1.0	1・2	秋AB	木3,4	朴 宣美	朝鮮における女子高等教育の発展、近代的なジェンダー意識の形成と変容などについて考察する。特に近代日本との比較を行い、近現代東アジアにおける社会文化史・ジェンダー史を考察する比較の視点を習得を目標とする。	西暦偶数年度開講。 OABACA7と同一。 隔週開講 対面
02DC307	日本史特講V-A	1	1.0	1・2	春AB	火5	田中 友香理	明治~昭和期の原史料を精読しつつ、日本史学の基礎領域である史料学について、とくに私文書に着目し、独自の領域を確立することを目指す。	西暦偶数年度開講。 OABACA8と同一。 対面
02DC308	日本史特講V-B	1	1.0	1・2	秋AB	火5	田中 友香理	明治~昭和期の原史料を精読しつつ、日本史学の基礎領域である史料学について、とくに私文書に着目し、独自の領域を確立することを目指す。秋学期はその実践に重点を置く。	西暦偶数年度開講。 OABACA9と同一。 対面
02DC309	日本史演習I-A	2	1.0	1・2	春AB	火3	三谷 芳幸	古代の法制史料を精読し、律令制研究に必要な史料読解の方法を習得する。令の注釈書である『令集解』のテキスト読解と、それを踏まえた日中の制度比較などを行う。具体的には、律令国家の人民支配にかかわる戸令の条文を読み進めていく。戸令全体の解説のあと、戸令9五家条(家の相互検察や人の移動の把握)以降の各条を精読し、最後にその成果を総括する。	西暦偶数年度開講。 OABACA10と同一。 対面
02DC310	日本史演習I-B	2	1.0	1・2	秋AB	火3	三谷 芳幸	古代の法制史料を精読し、律令制研究に必要な史料読解の方法を習得する。令の注釈書である『令集解』のテキスト読解と、それを踏まえた日中の制度比較などを行う。具体的には、律令国家の人民支配にかかわる戸令の条文を読み進めていく。戸令全体の解説のあと、戸令11給侍条(子孫・近親による高齢者介護)以降の各条を精読し、最後にその成果を総括する。	西暦偶数年度開講。 OABACA11と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
02DC311	日本史演習II-A	2	1.0	1・2				本演習では、史料を講読しつつ、宗教と社会を研究対象とした地域史研究における基礎的知識と読解・研究方法を修得する。具体的には、先行研究の検討をふまえ、つくば市域に伝来した地方文書(写真版)を講読し、地域史研究における基礎的知識と研究方法を検討していく。履修者には史料読解に基づく報告も求める。なお、テキストは講義時に配付する。	西暦奇数年度開講。 OABACB2と同一。 隔週開講 対面
02DC312	日本史演習II-B	2	1.0	1・2				本演習では、近世史料を講読し、宗教と社会を研究対象とした地域史研究における基礎的知識と研究方法を修得しつつ、論文作成能力を錬成する。具体的には、先行研究の検討をふまえ、つくば市域に伝来した地方文書(写真版)を講読し、地域史研究における基礎的知識を学びつつ研究方法を検討し、論文作成に向けての視点を考察する。	西暦奇数年度開講。 OABACB3と同一。 隔週開講 対面
02DC313	日本史演習III-A	2	1.0	1・2	春AB	火2		日本近代思想史の課題と方法について、史料の発掘・整理とその解釈をふまえて検討する。	西暦偶数年度開講。 OABACB4と同一。 対面 2026年度開講せず。 2028年度以後偶数年度開講予定。02DC313と同一。
02DC314	日本史演習III-B	2	1.0	1・2	秋AB	火2		日本近代思想史の課題と方法について、史料の整理と検索手段の作成をふまえて検討する。	西暦偶数年度開講。 OABACB5と同一。 対面 2026年度開講せず。 2028年度以後偶数年度開講予定。02DC314と同一。
02DC315	日本史演習IV-A	2	1.0	1・2				近代日本における「他者認識」・アジア認識に関する先行研究への「テキスト批判」を行う。日本の研究を中心に上げつつ、ほかのアジアにおける研究との比較を行う。このテーマに対する研究的考察ができることを目標とする。	西暦奇数年度開講。 OABACB6と同一。 隔週開講 対面
02DC316	日本史演習IV-B	2	1.0	1・2				近代東アジアにおける「他者認識」・アジア認識に関する先行研究への「テキスト批判」を行う。韓国を中心に、日本における先行研究との比較を視野に入れながら、先行研究の問題意識や論点、研究的な位置づけなどを明らかにすることを目標とする。	西暦奇数年度開講。 OABACB7と同一。 隔週開講 対面
02DC317	日本史基礎実習-1	3	2.0	1・2	秋ABC	応談	朴 宣美, 長尾 宗典, 三谷 芳幸, 山澤 学, 田中 友香理	日本史研究の基礎的な方法論を修得するため、実際に調査・観察するフィールドワークを行う。受講者は、日本史学領域全教員による通史的視野に立った指導を受けつつ、具体的な調査地を設定し、事前に調査地および日本史学研究者として身につけるべき調査の技能を学んだ上で、集中形式で調査地におけるフィールドワークを実施していく。これらを通じて、研究倫理をふまえ、協同して行う史料閲覧・撮影、聞き取り調査、景観観察等の技術を修得する。	西暦偶数年度開講。 OABACB8と同一。 対面
02DC318	日本史研究法実習-1	3	2.0	1・2				日本史学研究の専門的な方法論を修得するため、実際に調査・観察するフィールドワークを行い、日本史学研究の専門的素養である実地調査の方法と問題点を検討する。受講者は、日本史学領域全教員による通史的視野に立った指導を受けつつ、事前に調査地に関する学修およびその成果の報告を行った後に、集中形式で調査地におけるフィールドワークを協同して行う。その上で、史料閲覧・撮影、聞き取り調査、景観観察など、専門的調査における方法・問題点を考察し、研究倫理を含む日本史学研究者として必要な姿勢を体得していく。	西暦奇数年度開講。 OABACB9と同一。 対面
02DC562	歴史地理学特講-A	1	1.0	1・2	春AB	火3	清水 克志	地方文書や古地図、地形図類などを素材として取り上げ、その検討を通して、歴史地理学の史料解析法や調査法を修得することを目的とする。	西暦偶数年度開講。 OABACH0と同一。 対面
02DC563	歴史地理学特講-B	1	1.0	1・2	秋AB	火3	清水 克志	近年の英語圏における歴史地理学の研究動向について、英文のテキストを参照しながら、理解することを目的とする。取り上げるテーマは、歴史学と地理学の関係、土地と景観の歴史、人口と移動、国家と領域、環境と自然、歴史GIS、GeoAIなどである。	西暦偶数年度開講。 OABACH1と同一。 対面
02DC564	歴史地理学演習-A	2	1.0	1・2				英語論文の講読を通して、海外における歴史地理学の研究動向についての理解を深める。	西暦奇数年度開講。 OABACH2と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
02DC565	歴史地理学演習-B	2	1.0	1・2				日本の農山漁村の歴史地理学的諸問題に関して、従来の研究の到達点について理解し、今後の研究課題を見出す能力を身に付けるとともに、様々な史料の活用方法を身に付けることが目的である。	西暦奇数年度開講。 OABACH3と同一。 対面
02DC566	歴史地理学実習I-A	3	2.0	1・2	春C夏季休業中	応談	清水 克志	歴史地理学分野での学術論文・学術報告を作成できる調査能力を養うことを目的とする。特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を実地で指導する。具体的には、調査の計画立案から、自然景観および人文景観の観察、土地利用の調査、石造物の調査、建築物の調査、公文書ならびに私蔵文書史料の調査、聞き取り調査などの方法を实地で指導する。受講生の積極的・主体的な取り組みを重視し、フィールドでの学習の過程で、自ら問題を見出すこともねらいとする。	西暦偶数年度開講。 OABACH4と同一。 対面
02DC567	歴史地理学実習I-B	3	2.0	1・2	秋ABC	応談	清水 克志	歴史地理学における野外実習結果の分析方法とまとめ方を指導し、歴史地理学分野での学術論文・学術報告を作成できる能力を養うことを目的とする。具体的には、歴史地理学実習IAIにおける自然景観・人文景観の観察、土地利用の調査、石造物の調査、建築物の調査、公文書ならびに私蔵文書史料の調査、聞き取り調査などの結果を、どのように分析・表現して、学術論文・学術報告としてまとめることができるのかを指導する。授業の最後に受講生は調査結果のレポートを作成して提出する。	西暦偶数年度開講。 OABACH5と同一。 対面
02DC568	歴史地理学実習II-A	3	2.0	1・2				歴史地理学分野での学術論文・学術報告を作成できる調査能力を養うことを目的とする。歴史地理学実習IAとは異なる地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を実地で指導する。具体的には、調査の計画立案から、自然景観および人文景観の観察、土地利用の調査、石造物の調査、建築物の調査、公文書ならびに私蔵文書史料の調査、聞き取り調査などの方法を实地で指導する。受講生の積極的・主体的な取り組みを重視し、フィールドでの学習の過程で、自ら問題を見出すこともねらいとする。	西暦奇数年度開講。 OABACH6と同一。 対面
02DC569	歴史地理学実習II-B	3	2.0	1・2				歴史地理学における野外実習結果の分析方法とまとめ方を指導し、歴史地理学分野での学術論文・学術報告を作成できる能力を養うことを目的とする。具体的には、歴史地理学実習IIAにおける自然景観・人文景観の観察、土地利用の調査、石造物の調査、建築物の調査、公文書ならびに私蔵文書史料の調査、聞き取り調査などの結果を、どのように分析・表現して、学術論文・学術報告としてまとめることができるのかを指導する。授業の最後に受講生は調査結果のレポートを作成して提出する。	西暦奇数年度開講。 OABACH7と同一。 対面
02DC576	歴史地理学研究実習-A	3	2.0	1-3	春C夏季休業中	応談	清水 克志	博士後期課程段階に応じた歴史地理学分野での高度な学術論文・学術報告を作成できる調査能力を養うことを目的とする。特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を実地で指導する。具体的には、調査の計画立案から、自然景観および人文景観の観察、土地利用の調査、石造物の調査、建築物の調査、公文書ならびに私蔵文書史料の調査、聞き取り調査などの方法を实地で指導する。受講生の積極的・主体的な取り組みを重視し、フィールドでの学習の過程で、自ら問題を見出すこともねらいとする。	OBBDG6と同一。 対面
02DC577	歴史地理学研究実習-B	3	2.0	1-3	秋ABC	応談	清水 克志	博士後期課程段階に応じた歴史地理学における野外実習結果の分析方法とまとめ方を指導し、歴史地理学分野での高度な学術論文・学術報告を作成できる能力を養うことを目的とする。具体的には、歴史地理学研究実習Aにおける自然景観・人文景観の観察、土地利用の調査、石造物の調査、建築物の調査、公文書ならびに私蔵文書史料の調査、聞き取り調査などの結果を、どのように分析・表現して、学術論文・学術報告としてまとめることができるのかを指導する。授業の最後に受講生は調査結果のレポートを作成して提出する。	OBBDG7と同一。 対面

専門科目(人類学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
02DC76C	民俗学・文化人類学実習-A	3	2.0	1	春C	応談	木村 周平, 中野 泰, 武井 基晃, 佐本 英規, 中村 友香, 渡部 圭一	1年次生を対象として、フィールドワークの方法論を実践的に学ぶ。フィールドワークの深め方と総合化等、今後の民俗学研究・文化人類学研究の基礎となる研究法を訓練する。民俗学・文化人類学領域全教員による指導を受け、研究テーマについての発表に基づき、参加者による討論を行う。フィールドや調査テーマについての自主学習の計画や共同学習をコーディネートする。	OABACN0と同一。 対面(オンライン併用型)
02DC76D	民俗学・文化人類学実習-B	3	2.0	1	秋C	応談	木村 周平, 中野 泰, 武井 基晃, 佐本 英規, 中村 友香, 渡部 圭一	1年次生を対象として、修士論文に向けたフィールドワークの実践的遂行能力を養う。フィールドや調査テーマについての自主学習の計画や共同学習のコーディネートを継続し、実習前に予備調査を行う。民俗学・文化人類学領域全教員による指導を受け、1週間程度のフィールドワークを行い、フィールドワークで得られた資料に基づいて報告書を作成する。	OABACN1と同一。 対面(オンライン併用型)
02DC76L	民俗学・文化人類学研究実習-A	3	2.0	1	春C	応談	木村 周平, 武井 基晃, 中野 泰, 渡部 圭一	1年次生を対象として、民俗学・文化人類学領域全教員による指導のもと、博士論文作成に向けてフィールドワークの方法論を実践的に学ぶ。実習に関わる事前学習会、フィールドの選定並びに予備調査に主体的に関わり、調査と研究の方法全般についてより高度な訓練を行う。	OBADL6と同一。 対面(オンライン併用型)
02DC76M	民俗学・文化人類学研究実習-B	3	2.0	1	秋C	応談	木村 周平, 武井 基晃, 中野 泰, 渡部 圭一	1年次生を対象として、民俗学・文化人類学領域全教員による指導のもと、博士論文作成に向けたフィールドワークの実践的遂行能力を養う。実習に関わる事前学習会、フィールドの選定並びに予備調査、本調査、事後学習会に主体的に関わることにより、特定地域のフィールドワークとその報告、フィールドワークの実務、およびフィールドワークの指導方法を学ぶ。研究テーマに即したレポートや論文の執筆を課す。	OBADL7と同一。 対面(オンライン併用型)